

第8期立川市錦学習館運営協議会令和8年4月会議概要

日 時：令和8年4月6日（月）午後6時30分～午後8時

場 所：立川市錦学習館 第2実習室

出席者：委員：市川 松坂 倉持 木花 岡田 橋本 天野 石川

事務局：林 加藤（錦学習館） 梅田（砂川学習館）

欠席者：鳥海 山城 中村

会議の傍聴：公開

傍聴者数：1人 梶田（社会福祉協議会よりご挨拶のみ）

1. 会長挨拶

2. 前回（令和8年3月2日）の会議概要確認

- ・承認された。

3. 報告事項

（1）委員より報告

司会 松坂副会長：年度切り替えでの人事異動がありましたので、自己紹介を兼ねた近況報告をお願いします。

A委員：生活の知恵を学ぶ会の代表、利用者団体として参加しています。季節の調理を行いました。

B委員：学習ルームの使い方について一考あり、委員となりました。他市では、随時学習スペースがあるので、立川市もそのようにならないかと考えています。3月19日研修会に出席。豊泉氏の話から、立川市が近隣市と合併を試みた歴史があったことを知りました。イラン等戦争について、自分の立場で話し合う必要性を感じています。

C委員：市民推進委員会の会長です。2025年度34講座、延べ1736人の参加がありました。講演会が盛況でした。次期5月9日に市民交流クッキングを錦学習館で開催予定です。ガニガラ田んぼのお米を利用します。アレルギー対策は、ちらし作成時にメニューの表示をすることで、対応しています。

地域イベント等参加した企画の観客の減少が少し気になりました。

推進委員会も次期へのバトンタッチを考えながら活動したいと考えています。（様々な事柄含めて）高齢者だけではない形をどう作っていくかが課題です。

各委員：おっしゃる通り、様々なイベントの参加者が少ない。後継を考える必要あり。情報交換しながらやっていければ。

D委員：羽衣文化会、六小ソーランを担当しています。先ほどまでの話で、逆にプレ錦まつり等で、六小ソーランを客寄せにするというのもよいかもしれない。（子どもと保護者の動員が期待できる。）六小ソーランも少子化対策として、卒業後の子ども参加できるようにするなど、羽衣町全体で対応するように。

各委員：軸となる担当者が辞めると、活動自体が終わってしまうことがある。そうならないように考えていきましょう。

E 委員：錦児童館館長です。新年度の人事異動があり、落ち着きませんが、スタートしています。子どもたちの様子も、ケンカもありつつ、昨年度よりは落ち着いた雰囲気です。防災訓練が形式的になりがち。地域全体で取り組むなどできたらいいと考えています。

F 委員：4期8年の生涯学習審議会委員を終えました。東京学芸大学こどもの学び困難支援センターのセンター長になりました。

G 委員：青少健。学習館運営協議会の立ち上げ前から関わっています。

人員不足で、町内会行事ができなる事もあります。餅つき、運動会、神輿等、新しく引っ越してきた人たちをスカウトしています。若い人を誘うと、若い世代が呼ばれてくる感じがあります。

介護保険開始時の“なおす医療”から、“なおし支える医療”へシフト。地域共生の課題。何人集まったかではなく、つながりを持ち、影響を与えたのがどのくらいかが大切かと。何でも一つの施設だけでやっていくのは難しく、連携やつながりが大事。

羽衣町在住で錦町勤務です。新入社員50人、その若い人たちが立川市定住につながるとよいです。

各委員：調理室のフライパンが新調された。館内のタペストリーなど、きれいに飾り、イメージが良い。ロビーの居心地が良いです。

H 委員：学校関連の資料を作成して報告しています。3中学校コーディネーター。学校の様子を地域にも知っていただきたい。

皆さんのご推薦により、生涯学習審議会委員になりました。

(2) 事務局より報告

- ・人事異動の挨拶。新係長に林、梅田は砂川学習館へ。
- ・次期委員の要請のお手紙をお渡しします。
- ・2年毎の委員報告書を願います。書類配布。

4. 議事

(1) 「第40回みんなの錦まつり」の報告

・2月28日、3月1日に展示会。3月7日にコンサート。14日サークル発表会。平日の公開教室開催で、無事に終了しました。人数は集計中です。

(2) 新年度錦学習館運営協議会の取り組みについて

(3) その他

- ・来年度のスケジュール確認→各委員と協議の上、プレ錦祭りは12月6日（日）に決定。合わせて、月例会も決定。

次回開催予定日：令和8年5月8日（金）午後6時30分～

以上